

## まちづくり懇談会 明智

日時：平成 30 年 9 月 18 日（火）午後 7 時～8 時 30 分

場所：明智文化センター

---

### 4. 「はたらく」「たべる」「くらす」の政策について

■企画部長 明智地域自治区の取り組みから紹介する。

恵那市では第 2 次総合計画として平成 28 年度から 37 年度の 10 カ年計画があり、平成 27 年度に総合計画にあわせて 13 地域自治区ごとに地域計画を策定した。この計画に基づき地域の課題解決に取り組むまちづくりをして頂いている。自治区の会長から説明頂いた方が細かく説明出来ると思うが、補助金も出しており私からそういった視点の中で簡単に説明する。なお、今年度は明智地区の地域まちづくり活動補助金は 10 事業で合計 283 万 1 千円の補助金を交付決定した。

地域計画の概要。キャッチフレーズは「活気ある笑顔あふれるまち～大正ロマン香るノスタルジア～」で、計画の柱が 4 本ある。

計画の柱 1、賑わいと活気のあるまち。事業内容は花いっぱいのもちづくり事業、実施団体は花と木のまちづくり実行委員会。4 月から 11 月にかけて植栽等の事業を実施して頂いている。地域の絆結びと世代間交流事業、実施団体は吉田地域活性化委員会。活動内容は地域の絆と世代間交流。

計画の柱 2、安心していつまでも住み続けられるまち。明智町総合防災訓練。つい先日防災訓練が行なわれた。地域全体でこういう訓練を行っているところは他にあまりない。明智は非常に防災意識が高いと言える。防災リーダーも 42 人で、平成 22 年度から防災アカデミーということで各自治会に 1 人は防災リーダーを置く。明智は 51 自治会あるので、42 人は 82%。13 地域の中では断トツにトップクラス。非常に防災意識が強い地域だ。

計画の柱 3、若者を中心とした地域力の向上。大正村かえでまつり事業、実施団体は「かえでまつり実行委員会」。併せて、こどもの地域力応援事業。大正村かえでまつりの中で子ども広場ということで、あけちまちづくりフォーラム福祉部会でお世話頂き、中学生の経営企画運営ブースを展開している。実施団体明智花 y o m e プロジェクト、明智まちづくり縁結びプロジェクト事業。内容は婚活事業。9 月 8 日に明智の森デイキャンプ婚活をした。

計画の柱 4。郷土の魅力と誇りを次世代へ。中学校によるまちづくり「撮ろまい！大正村」事業。明智中学校生徒による地域貢献活動の一環として、中学生が考案した明智のス

ポット 12 選の 1 つである大正ロマン館の整備を行っていく。子ども川遊び体験と川ひろば整備事業。実施主体は「まいまいくらぶ」。名前の由来は、やろまい、がんばろまい、の「まい」を取ったもの。構成員は 80 名で若い人が中心だと聞く。内容は川ひろばの整備を行いながら夏にはアマゴのつかみ捕りなどをやっている。山城・砦整備及びスポーツイベント事業。実施団体は日本大正村フォトロゲイニング実行委員会。目的が、素晴らしいと思ったのが、未開発の山城、砦跡の整備に、スポーツイベントとして実施して健康増進を図る。さらに地域の魅力発信と地域振興を図るといった、色々なものが織り交ざった中で、計画の柱 4 を実践するにふさわしい事業だと思う。

以上が地域自治体の取り組みだ。最近明智はこの 3 年ぐらい、事業数も 5、7、10 と増えてきている。補助金も 13 地域で一番今年は多く交付決定して事業を実施している。全体を見るとバランスよく事業を実施している。多くの方がまちづくりにかかわって実践していると感じる。引き続きキャッチフレーズの実現を目指して、自治体会長を中心にまちづくりに努力して頂きたい。

#### ■市長 明智町の状況と事業等について。

人口は平成 17 年の 6,600 人が今は 5,400 人で右肩下がり。世帯数はほとんど変わっていないのが特徴。何とか踏ん張ってもらっている。これがもうちょっと別の地域に行くと、世帯もぐっと減り始めている。明智町の皆様にはがんばって頂き世帯をキープして、世帯の中の子どもの数、住む人を増やしていくことが大事だ。平成 17 年当時を 100 とすると、市全体では-10.9%だが、明智町では-18.8%。世帯は減ってないので、今一生懸命がんばっていることが実を結ぶと思う。出生数について、3 年に 1 度たくさん子どもが生まれる年があるようだ。予定では今年 35、6 人生まれるのではないかとこの数字からは読み取れるが、どうなるか分からない。ただ、何となくがんばって持ちこたえているという印象はある。ぜひ子どもさんやお孫さんに声をかけて明智に住んでくれと言って頂くのが良いと思う。平成 17 年に 38 人の子どもがいて昨年は 19 人で半減だが、変動が大きい。がんばってほしい。最近 6 年間の子どもの数を見ると、小学校は今 229 人、平成 35 年には 166 人。憂慮すべき事態だ。中学校は 126 人で、一時的に少し増える。そういう中でこれからどう考えるかだ。

次に市、国の事業について。県単の林道落倉線。団子杉の奥の方。平成 25 年からスタートし全体で舗装が 2,500m ぐらい。5300 万の事業費。今年度で完了予定。

明智分団の消防器具庫を建設中。事業費は平成 29 年に 1400 万、平成 30 年に 3200 万。今年度中に完成予定。

瑞浪上矢作線の歩道の設置。県の事業で全体の延長は 436m。歩道幅 2.5m。平成 30 年度 1800 万、31 年度は 2000 万の予定で動いているという情報が入っている。

県道豊田明智線。明智浄化センター辺りの串原に下りていくところの大小屋工区。全体で 350m、幅員 5.5m で整備している。今年度は用地補償、浄化センターの配水管の移設の補償等で 3000 万の事業で工事を今行っている。

豊田明智線の横通工区。今片側通行になっている部分。今年度 2000 万の事業で行っている。

国道 363 号は歩道の設置工事で、陶境で、29 年度に 1500 万の工事を発注していたが、繰越しで 8 月 31 日まで掛かって完了した。

明智はものづくりの町。創意工夫功労賞、文部科学大臣の表彰があり、明光化成さんが 15 年連続で受賞された。明智セラミックさんも 3 年連続で受賞している。ものづくりを一生懸命行っている会社が多い。恵南地域では他に大成化工さんもととき受賞している。

大正村掃除に学ぶ会。今年も 10 月 20 日に子どもたちを交えて全域で行って頂いている。4 月にルーマニアの子どもたちが掃除に学ぶということで明智中学校に来てくれた。

恵那南高校。今年の入学は 62 人。今年度は 187 人の生徒がいる。昨年は 177 人、その前は 170 人だったので若干がんばって頂いている。特に、魅力化プロジェクトに取り組んで頂いており、6 次産業学習と英会話教室の 2 本立てで動いている。6 次産業は恵那川上屋さんとタイアップして頂き、栗の生産、加工、販売をそれぞれ行って頂く。3 年間通じて行って頂いている。英会話は市で全面的にバックアップさせて頂き、ALT を講師として英会話の実戦訓練が行われている。

大正村は入込客数が平成 29 年 21 万 5 千人で若干上向きになっていると思う。ロマン亭は私もずいぶん関わったが、売上は約 9 千万で、皆様にご利用頂き心から感謝申し上げます。ロマン亭は私が社長をしている。なるべくここでコーヒーを飲むようにしている。

2020 年は NHK 大河ドラマが明智光秀ということで、「麒麟がくる」というテーマは決まっている。主役も決まっている。これに合わせて、ついこの間、杉山会長にご案内頂き、明知城などゆかりの地を巡った。改めてみると大変素晴らしい資源がたくさんある。見るところがたくさんある。ぜひ力を入れて皆さんでピーアールして頂くと良いし、併せて関連した商品とか、観光ボランティアガイドや食事など合わせ技で取り組むと良いと思っている。地域の皆様と一緒に行っていきたい。生誕の地も見せて頂いたし、明知鉄道も私が社長なのでなるべく使うようにということでお願いする。

大正村クロスカントリー、フォトロゲイニング、ウォーキング、大正村場所（相撲）、色々な取り組みをされている中で、大正村は大変元気な印象がある。これに止まらず、もっと上を向いて行って頂きたい。私どもも一緒に行わせて頂きたい。

## 5. 意見交換

■司会 発言は 1 人 1 回とし、簡潔に発言してほしい。挙手して頂き、差し支えなければ

地区名、名前を言った後、発言してほしい。

■市民 1 市長の話聞き、潤沢な予算はないが色々な方面に使って頂いていることがよく分かった。私が一番関心あるのは、明智中学校がどうなるかということだ。去年の懇談会だったが、18 項目を挙げて今検討中だと答えておられた。その後、どの程度話し合いが進んでいるのかちっとも見えてこないのがイライラが募る。話し合いの中間を公開して頂きたい。

もう一つ、山岡に新校舎を建設するとしたら幾らかかるのか。自分たちが家を建てる時見積もりを先に取る。それで折り合いがつかなくなったらやめる。幾らかかるのか早く教えてほしい。恵那市民病院は 80 億円だった。40 億円ぐらいかかるとはならないかという話をちらっと聞いた。仮に 40 億円とすると国・県からの補助金が半分、6 割ぐらいとすると、15 億から 20 億は市が持ち出しで出さないといけないと思う。そうだとすると、少子高齢化問題、少子化対策、一番必要なのは子育て支援だ。先日も中日新聞に、給食費の無料化がどのくらい進んでいるかという話があったがほとんど進んでいない。やっているところは、1 人目は全額だが 2 人目は半額、3 人目は無料にするという苦肉の策で援助を打ち出している自治体もある。定住促進もそうだが、これから子育てをするという若い親の支援をもっとしてほしい。無いお金をどう使うかが一番大事だ。道路も中学校を造ることも大事だが、子育て支援にもっと力を入れてほしい。

中学校ではエアコンを来年から整備するというので、恵南の中学校が後回しということはないと思うが、そのときに学んでいる中学生を守ってやらないといけないので。恵那南の方は後回しということにはならないと思う。

そうやって耐震補強もしエアコンもつけて投資をしていった中学校が、やはり取り壊して更地にするということでは、また金がかかるという事態になる。つくらない方がまだ。そういうことも色々検討されていると思うので、そこをよく教えて頂きたい。

こういった地域の懇談会ではなく、中学校の新設説明会を恵南 5 カ町村でしっかり開いて頂きたい。その説明会も、地域住民対象のものと、若い親だけのものの 2 本立てでやってほしい。豊田市はやっている。小規模校の統合問題が出て、1 学年 2、3 クラスが適正だという答申が出ており、地元の人の意見を聞く場合に、1 つの地区に対して 2 通りの説明会をしている。

■市長 言い忘れていて失礼した。9 月定例会で中学校統合に関しての一般質問も頂いた。18 項目に課題を整理した。今日までに 14 項目はある程度整理した。まだ 4 つ残っている。これをすべて、どう答えられるか整理して、その上で改めて皆さんにご説明しご意見をお伺いしたい。これは就任当初からずっと申し上げている。時間がかかっていることについてはお詫び申し上げます。ブレているわけではない。

幾らかかる、跡地がどうなるというのは、判断する上で重要な基準だと思う。そういったことが 18 項目のそれぞれに含まれている。場所はどこにして、そうしたら幾らかかるか、通学時間はどうか、親は何時に子どもを送り出さないといけないか、こういったことをすべて答えられる状態にしないといけない。あいまいなことでは説明できない。煮詰めてから説明する。

教育委員会では、今年度保護者、PTAを対象にしたアンケートを実施する。それも 18 項目の 1 つになっている。時期が来れば皆様に説明する。

子育て支援に力を入れるべきということについては、まさにその通りだ。一生懸命進んでいきたい。

エアコンは恵南を後回しにする気はない。年度が分かるとすれば小さい子のほうから入れていくことになるだろうと感じている。中学校より小学校を先にやることになるかもしれない。すべての機材と人が準備出来るなら 1 年で全部やりたい。

新設のための説明会を開くべきということは、今のところまだきちんと新設で統合するとは決めていないので説明会には至らない。

■市民 2 明智町の頑張りは多くのボランティアに支えられている気がする。10 月 11 日、ボランティア交流会があるので福祉センターに申し込みに行ったら、特に男性の参加は少ないと言われた。僕はこれまでも、花壇の植栽やバラ園の管理等、自分なりに出来ることがボランティアの一つだと思ってやってきたが、10 月の交流会は少し趣が違うという話を聞いた。悩んだが、向学のために参加することにした。

9 月 2 日に防災訓練もやった。もしこの地に何かあったときの、防災ボランティア、そういう組織が行政としてあるのか。福祉センターの担当はそういう話は聞いたことがないと言われた。もし何かあったとき改めて立ち上げるとなると時間がかかるし間に合わない。理想とするのは山口県での 2 歳のお子さんを見つけた大分の人。各地に災害ボランティアで出動されている。感心した。恵那市の行政としても、災害ボランティア、防災訓練の時にそこまで踏み込んだ組織づくりとか。そういう組織を作る必要があると思うので検討してほしい。

■市長 防災ボランティアは、恵那市でボランティアとして登録して活動しようという団体はない。他市も、市や社会福祉協議会なりが災害時にボランティアの窓口を設けて参加している。

恵那市は防災アカデミーで、防災士の育成に力を入れている。中学生を含めて多くの皆さんに防災士の資格を取ってもらっている。そういう人がいざというときに地域やそれぞれの分野のリーダーとなって頂いて働いて頂くと思う。通年を通じた消防団のような活動には至っていない。

■市民 3 近年の台風などの災害は、メディアに出てくる表面的なことは結構あるが、相当な地域で共通したことが、私が調べた限りでは 6、7 割が合併した地区だ。私が当地に戻って 9 年になるが、年々募っている心配が、合併前は各役場があってそこに 30、40 名が勤めていて、地区住民との接触が多かった。合併後は、中央省庁の、恵那市のうんぬんは別にして、各地区はせいぜい 10 人、15 人。必然的に接点が減っている。そこで生じたことが、今の 2 つの質問にも、他のことにもあるが、接触が減ってきたことが色々な要素になって弊害や先々の懸念を招いていると思う。この辺の見解を、昨年まで 1 年間小坂市長になられてどんな受け止め方をされているか。

私が思うのは、昔のように役場の人員を増やせとは言わないが、合併後の地域の住民や情報を収集するシステムと検証することが今まで以上に絶対的に必要だと感じる。そうしないと、小坂市長が就任して 3 つの柱を立てているが、すべての住民が活力ある生き方をするということがベースになると思う。それがなければ進まないと思う。

そのために 2 つ提案がある。市庁舎の各部署に、できれば地区の情報を収集する部署をつくれとは言わないが担当者はつくってほしい。それができなければ、合併したときに、恵那市に凝縮した分の補完の制度として、地区に協議会、自治連合会ができたはずなので、そのことの地区の活動の継承ぐらいはしてもらいたい。先ほど服部部長も言われたが、予算が出ているのだから、継承するのは当たり前だと思う。それで次の活力が生まれる。

この 2 つ。検証を取り入れることと、各部署にそういう担当者を置くということをしてほしい。

1 つ実例を言う。先ほど服部部長が、こういう事業があるということで、花いっぱい運動のことを言われた。笑わせるんじゃないよと思う。本当に参加者は少ない。30 人ぐらいだ。私はスタートのときから春と秋に参加しているが年々減っている。仲間と、恥ずかしいからあの看板を取ってもらいたいと言っている。情報が恵那の方に行っていない弊害の良い例だ。あの建物の中の人には各地区を知ろうとしてほしい。かつ、どうなっているか検証してほしい。

■市長 ご心配はもっともだ。特に振興事務所の人が減っているので心配されると思う。まず、私どもが気にかけているのは、振興事務所が地域の拠点になることは間違いないので、地元の人間をなるべく配置するようにしている。ただ、必ずしも全員そうなるわけではない。中心になる人には必ず地元の人に入ってもらい、地域の名前や人の名前が分かるように体制を組む。それから、振興事務所単位では職員が減っていると見られがちだが、災害対策本部の組織も含めて、恵那市全体で、たとえば明智、山岡で集中豪雨があたり何かあったら、恵那市の職員全員がそこに入って対応する。全体でバックアップする。

また、水位計、雨量計など色々なデータを集めながら、特に最近は気象庁を含め、かな

り高精度な予測が出るようになってきているので、音声告知器や屋外の拡声器を含めてお知らせ出来る態勢を構築しつつある。まだ足りないと思うが、引き続き、事前の防災のための情報も伝える仕組みは作りたい。

地域協議会を含めて検証すべきというご意見。おっしゃる通りで、毎回防災の後に検証されているかどうかつかんでいないので、帰ったら担当に伝え検証するように指示を出す。

■副市長 防災の応援体制は、各振興事務所ともに、被害がありそうだとか非常事態になりそうだという場合は、振興事務所の所長が、すぐに出身地域、明智の職員を応援体制で駆けつける形ができています。

それと、昨年心配したのは、吉良見地区が豪雨で、山岡もそうだが、363号に吉良見川から水があふれた。このときは振興事務所だけではなかなか態勢がとれなかった。実は私がちょうど明智振興事務所に来ていたのでその状況を見た。こういうことについてはしっかり検証して、特に吉良見地区に雨量計をつけたりした。今後もこういう態勢については検証したい。

■市民3 私が言っているのは防災だけのことではない。明智には明智の資源がたくさんある。人も文化も。それを中央の恵那市の市長には知ってもらいたいし、それを収集するシステムや部署部門をきちんと設けてもらいたい。そういう制度、人材、方向づけをして頂きたい。

■市長 そんなふう出来るように考えてみる。

■市民4 養鶏場建設計画についてと、台風21号による恵那市の防災状況について。

先ほど、明智で21号台風による被災状況が2件報告された。私たちの地区は約18時間停電したままだった。他の地区に聞くと、もっと他にもあるとは思いますが、明智地内では阿妻地域や横通地域で20時間ぐらい停電していたということだ。9月4日の6時20分ぐらいに停電した。しばらくして防災無線が、全市停電というのが入った。それ以後10時ぐらいに大雨洪水警報の防災無線が入った。僕は1時ぐらいまで起きていたがそれ以後の状況については全く報告も情報も入ってこなかった。朝、吉良見や上田地域を見て回ったとき、国道沿いは電気が来ていた。私たちの地域では朝は来ていなかった。電話が混雑しても対策本部が困ると思い、自治会長から対策本部に問い合わせてもらったが、どこで停電しているのか全く分からないという回答だった。

振興事務所の職員なり、各地域には自治会長もいるので、停電一つとっても、どの地域が停電しているのかということ、はっきりと把握してほしいと思う。

市の対策本部を設けたなら個々の地域の状況について掌握してほしい。それから停電の起こる原因という問題もあるので、対策をとって、停電が20時間も続く状況は直して頂きたい。対策本部も情報をきちんとつかんでほしい。

この 6 月に養鶏場の建設計画が自治会長会議で報告された。私たちの自治会長は具体的な話はしなかったが、地域を回ると、150 人近くの雇用が生まれるとか、日本で最大規模の養鶏場が出来るといった話がされたところもある。養鶏場の予定地は阿妻地域にあるが、昔 40 年位前から養豚場があつて、汚水を流して公害も出た。それ以後、土地買収によって産業廃棄物の廃棄、それからここ 3 年前には J R 東海のリニアによる残土の持ち込みという話があり、地域住民が、署名や自治会長の連盟による反対陳情も 40 年近くの間に来てきた。が、今回は全く具体的な話のないまま養鶏場建設の話が進んでいる。現状はどうなのか聞きたい。

■副市長 停電について。台風 21 号が接近するというので市は対策本部を立ち上げた。その段階で、中部電力の職員 1 人が対策本部に入っていた。明智の一部で停電が起きているということは私に連絡は来ていた。次の日、「老健ひまわり」が 2 時ぐらいに通電したということまでは聞いている。実は逐一連絡が来ているが、細かな地域の全部の名前までは情報は来ていない。中部電力も地域全部の情報はつかめていないので、明智町の田良子とか吉良見とか、下の方が停電しているという状況までは知っていた。ただ、なぜそうなったかは、中部電力も把握できなかった。というのは、風速 15m 以上だと中部電力も職員保護のために動けないという足かせもある。従って、風が収まってから中部電力が確認しに行った。ただし、明智はまだ良かった方で、飯地や八百津に近い方はもっと通電が遅かった。ただし、本当に詳細な情報を広報で流したということではない。これは中部電力と今後とも話し合っていきたい。

養鶏場の件は、今日初めて聞いた。持ち帰って、心配されている状況があるなら開発担当と話をしてもたお話ししたい。市として手立て出来るのか、あるいは、そちらの方で市に何かしてほしいことがあれば相談してほしい。

■市民 4 停電情報も、細かい範囲で通電したところや停電したところについて、早く市独自で情報をつかんで報告してほしい。

養鶏場の問題は自治会長会議で報告されている。全く幹部が知らないような事業計画を自治会長会議で報告するということが、住民の不安や心配を巻き起こす原因になる。振興事務所は会議の資料なりきちんと対応して頂きたい。

■振興事務所長 6 月の地域協議会と 7 月の自治連合会で、状況の説明をした。会社が持っている山林、これは明智ゴルフ場の進入路の入口の反対側で、過去には養豚場があつた周囲の土地で約 30ha 程度。採卵鶏で卵をとる会社で、そこから開発をしたいという申し出があつたという情報があり提供をした。今後これが進めば住民説明も事業者からされるということだ。かなり大きい面積なので、地主から情報を得たということで話した。

■司会 本庁のほうには情報がいつてなかったみたいなので、副市長もまだ把握できてなかったようだ。



## 6. 市長お礼のあいさつ

■市長 活発にご意見を頂きありがとうございました。意見は持ち帰り、担当と詰めたり、調整が必要なものは調整出来る態勢をとり、必ず何かしら前向きに検討出来るようにする。また、今日以外でも何かあれば振興事務所で回答したり対応したりする。引き続き恵那市、明智のために意見を賜りたい。

■地域協議会会長 市長、副市長、企画部長、ありがとうございました。明智地区では住民が安心して元気に暮らせるよう今後も努力して行きたい。皆様ありがとうございました。これで閉会する。

■司会 長時間ありがとうございました。アンケートは出口で出すか後日振興事務所に出してほしい。

[ 閉 会 ]